

令和7年度(2025年度) てがたん予定表

毎月第二土曜日 10：00～12：00（雨天中止）

参加費：大人300円・中学生以下100円（申込不要・当日先着30名）

観察場所：鳥の博物館周辺

年	日付	テーマ	内容
2025	4月12日	みどり、いろいろ	春の手賀沼にはいろいろな「みどり」があふれています。あなたの好きな「みどり」を見つけに行きましょう。
	5月10日	もっと知りたいムクドリ	駅前に群れていて怖い、鳴き声がうるさい、フンが落ちてくる、など嫌われがちなムクドリですが、なぜ彼らは駅前に集まるのでしょうか。普段どんな暮らしをしているのか、他の鳥との違いにも注目して観察してみましょう。
	6月14日	鳥のヒナまつり	6月は多くの鳥のヒナが巣立つ季節です。ヒナへの餌運びの様子や、ヒナの鳴き声などを観察してみましょう。鳥にとって子育てしやすい環境と一緒に考えてみましょう。
	7月12日	へび巳(み)つけ！	今年の干支である巳(へビ)は、足がなく、大きな獲物を丸呑みにできる顎をもつ独特な体をしています。博物館周辺でみられるトカゲやカメとの違いを観察してみましょう。
	8月9日	拾ってみよう！鳥の羽	多くの鳥たちは、春から初夏にかけての繁殖が終わると全身の羽毛を生え変え、8月には翼や尾の大きな羽毛もよく落ちています。羽を拾って、鳥たちの一年の生活サイクルを学んでみましょう。
	9月13日	生きるための毒 part 2	昨年に引き続き、毒を持つ身近な生き物と、その生き方を探るpart2。毒は自然界で、どんな役割をしているのでしょうか。生き物たちとの共生について探っていきます。
	10月11日	タケってどんな植物？	私たちの身近な植物であるタケの暮らしや形について、観察や工作をしながら調べてみましょう。
	11月1・2日	てがたん in JBF	ジャパンバードフェスティバルを通して我孫子に訪れる方向けに、博物館の観察会を担当するスタッフの目線から、我孫子の豊かな自然環境や生き物を紹介します。
	11月8日	世界とつながっている、我孫子の鳥	渡り鳥に国境はありません。いま、我孫子で観察できる鳥たちは、どこから来たのでしょうか？世界とつながっている、鳥たちの暮らしを見ていきます。
	12月13日	検証！鳥のことわざ	昔から鳥に関することわざやたとえが数多くあります。昔の人々も身近に鳥を感じていたのだと思います。てがたんコースの鳥を観察し、ことわざやたとえがどんなことを私たちに教えてくれているのか考えてみませんか！？
2026	1月10日	命のタイムカプセル	生きものの中には、人間とは異なり、休眠状態で春を待つものがたくさんいます。種をつけた植物や、卵や蛹になった動物など、春を待つ生きものたちを探しましょう。
	2月14日	冬鳥ウォッチング	冬の手賀沼は一年を通して最も鳥で賑わう季節です。その多くがカモ類で、見分けるのが難しい種類もいます。手賀沼沿いを歩きながら、博物館の水鳥カウント調査を体験してみましょう。
	3月14日	気にならない木に春が来た!?	普段あまり気にすることのない木をちょっと気にしてみませんか？いよいよ春、木の芽の様子は？もう花が咲いているのか？もしかしたら虫が隠れているかもしれません。春の樹木をじっくり観察してみましょう。